

# 私立大学研究ブランディング事業 29年度の進捗状況

|                  |  |       |      |      |      |
|------------------|--|-------|------|------|------|
| 学校法人番号           | 401013   | 学校法人名 | 福岡学園 |      |      |
| 大学名              | 福岡医療短期大学   |       |      |      |      |
| 事業名              | 口腔機能向上でイキイキ長寿社会の実現 一話そう・食べよう・いつまでもー  |       |      |      |      |
| 申請タイプ            | タイプA   | 支援期間  | 5年   | 収容定員 | 320人 |
| 参画組織             | ・歯科衛生学科、保健福祉学科   |       |      |      |      |
| 事業概要             | 口腔機能向上からの栄養改善、運動機能および社会資源創出に関する教育研究を基盤として、健康寿命の延伸につながる研究を推進する。これらの研究成果を、卒前・卒後教育における人材育成、地域住民主体のコミュニティ形成支援、および学術発表等の学会活動を通じて、ステークホルダーとの協働・評価・協力体制を構築し、地域社会に還元することによって、口から支える健康長寿社会の実現を推進するブランディング事業を展開する。   |       |      |      |      |
| ①事業目的            | 本学の建学の精神である「歯科衛生学、保健福祉学に関する専門の学術を教授・研究し、教養と良識を備えた有能な歯科衛生士、介護福祉士を養成し、保健福祉に貢献すると共に、歯科衛生学、保健福祉学の進展に寄与する」を踏まえ、高等教育機関としての教育研究機能を最大限に活用し、歯科衛生学、保健福祉学を包含した口腔医学研究を推進する。加えて、ステークホルダーへの情報発信や、協働・評価・協力体制を強化し、社会資源としての地域人材育成により、口腔機能向上からの健康長寿社会の実現を事業目的とする。  |       |      |      |      |
| ②29年度の実施目標及び実施計画 | <p>1) 研究活動:口腔・栄養・運動機能・社会資源創出に関する4つの研究チームを立ち上げ、平成29年内に研究計画・進捗状況報告会を実施する。年度内に実験室の空調等の環境を整備する。</p> <p>2) ブランディング戦略(広報活動・地域活動等)</p> <p>(1) 本事業専用ホームページを開設し、教員の研究プロフィールを掲載する。</p> <p>(2) 高校生・一般向けリーフレットを1,000部作製し配布する。</p> <p>(3) 新聞、高校生向け雑誌に本事業の記事をそれぞれ1回掲載する。</p> <p>(4) 高校訪問時に、本事業と口腔機能向上支援による健康寿命の延伸を啓発する。</p> <p>(5) オープンキャンパスで受験志願者・保護者に口腔機能向上支援による健康寿命の延伸を啓発する。</p> <p>(6) 公開講座(専門職向け)で口腔機能向上支援による健康寿命延伸を啓発する。</p> <p>(7) 各ステークホルダー代表者で構成する事業推進協議会第1回を年度内に開催する。</p> <p>(8) 地域における活動(地域公開講座・地域交流カフェ・地域公開ゼミ)において本事業を広報する。</p> <p>(9) 企業・研究所訪問:共同研究や産学官連携研究を検討する。</p> <p>(10) 学会等における広報活動:関連する学会・研修会等に参加し広報活動を行う。</p>   |       |      |      |      |
| ③29年度の事業成果       | <p>1) 研究活動:4つの研究チームを立ち上げ、研究報告会を12月に4回開催した。実験室の空調整備が年度内に完了した。研究内容については補足資料「29年度研究ブランディング事業報告書」を参照</p> <p>2) ブランディング戦略(広報活動・地域活動等)</p> <p>(1) 事業専用ホームページを開設し、教員の研究活動プロフィールを掲載した。</p> <p>(2) 高校生・一般向けリーフレットを1,200部作製し、地域公開講座と交流カフェ等で約700部、学会等で約400部配布した。</p> <p>(3) 平成30年2月24日付け読売新聞に事業内容の紹介記事を掲載した。しかし、受験雑誌へは掲載時期を過ぎていたため掲載できなかった。</p> <p>(4) 高校訪問がほぼ終了した時期で1回しか実施できなかった。</p> <p>(5) 12月以降のオープンキャンパス参加者は12名と少数であった。</p> <p>(6) 29年度公開講座「口から支える健康長寿」を9月24日に開催し、69名が参加した。</p> <p>(7) 研究ブランディング事業推進協議会を3月13日に開催し、歯科通院中高齢者の口腔機能の現況調査など新たな研究課題等を協議した。</p> <p>(8) 平成29年12月3日 福岡歯科大学学会において事業概要をポスターで紹介した。</p> <p>(9) 平成30年1月6日 医科歯科系大学の8大学共催の「口腔医学シンポジウム」において事業概要をポスターで紹介した。</p> <p>(10) 平成30年1月29日 学内の講師以上が参加する「朝食会」において事業概要を説明した。</p> |       |      |      |      |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>④29年度の自己点検・評価及び外部評価の結果</p> | <p>(自己点検・評価)</p> <p>1) 研究活動:各研究チームの報告会を12月に開催するなど早期からチーム相互の研究の周知が図られ、研究成果の統合およびブランディング活動にも有効である。また、実験室の空調整備等が年度内に完了し、30年度からの本格始動態勢が整った。</p> <p>2) ブランディング戦略:多くの活動は11月以降に始動したため、高校訪問やオープンキャンパス等の目標達成には至らなかったが、計画全体としては30年度に向けて前進していると考えられる。とくにリーフレットの作製・配布や事業専用ホームページの追加開設など、早期から広報活動に着手したことは評価されるが、一般にも理解しやすいデザインや文章表現とするなど改善が必要である。また、専門職向けのリーフレットを作製し、夏期から配布するとよい。高校生向け雑誌は雑誌社が運営するホームページ等への掲載も検討が必要である。高校訪問、進学ガイドンス、オープンキャンパスでは、高校生や保護者が理解しやすい表現により本事業等が紹介され、「口腔機能向上による健康長寿」の啓発が期待される。</p> <p>公開講座(専門職向け)では本事業の概要・研究の進捗状況を講演し、地域の専門職の協力を広く求めることが期待できる。</p> <p>研究ブランディング事業推進協議会では本事業の意義や目的の理解が得られ、地域の歯科医師会や歯科衛生士会と連携した研究企画等の提案もあり、有効に機能している。</p> <p>地域公開講座における全身の体操と健口体操の組み合わせや、地域公開ゼミにおける個別指導と体験学習は口腔機能維持の重要性を啓発するのに効果が高いと推測され、アンケート調査等で検証することが望ましい。また、かふゑもりのいへの継続実施によって、地域における「口腔機能向上でいきいき長寿」の意識定着の検証に繋がることを期待したい。さらに、教育機器開発の企業やその他との共同研究を提案し、進めることが望ましい。学会等においても本研究の学術発表3題・福岡歯科大学学会主催の“研究ブランディング事業シンポジウム”等の企画および広報活動が予定されており、さらなるブランディング活動の展開が期待できる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>平成30年5月23日(水)に外部評価委員会を開催し、平成29年度ブランディング事業の取り組み及び成果を報告するとともに、外部評価委員に意見を求めた。地域住民から、地域交流カフェでは参加者が体を動かすプログラムを取り入れてほしいこと、職能団体から、歯科衛生士の視点に立った研究を推進して欲しいこと、口腔機能向上については高齢者のみならず小児対象の研究も必要とのこと、学会代表者から、研究対象者数を増やすことが必要であり共同研究に協力したいこと、企業代表者から、口腔機能の教育研究に協力していきたいとの意見があった。</p> <p>その後、30年度の事業計画として、各研究チームの研究の推進および「いきいき長寿サポーター」養成セミナー等の企画、ならびに29年度から引き続いてブランディング戦略を展開することが説明された。</p> |
| <p>⑤29年度の補助金の使用状況</p>         | <p>事業に関する経費については、研究ブランディング事業実施委員会を開催し、予算金額を設定し、適切に管理した。</p> <p>広報費:ブランディング事業ホームページの作成、リーフレットの作製と配布および学会等での広報活動を行い、学内外へ情報発信を行った。</p> <p>研究費:各チームが事業計画に沿って適切な処理を行った。</p>   |